

一般質問通告一覧表

令和7年9月定例会

通告順	氏 名 / 件 名 及 び 要 旨
1	(小笠原 直治) 1. 人口減少による危機感の共有と新たな「暮らしの支え」の 組み立てについて (要旨) 町民は、忍び寄ってきている人口減少による「暮らしの支え」の変化が起きてくることについて認識しているのか。人口減少が及ぼす影響を、行政・議会・町民が共有していかなければならない。都市計画マスタープランでは、課題別に現状と分析をされていますが、人口減少鈍化の具体的な対応策を模索しているのが実情です。国の人口減少対策が不透明の中で難しい課題であります。人口減少受け入れの方向性と戦略の議論を深め、新たな「暮らしの支え」の組み立てを研究していくことが必要と考え質問をまいります。 (1) 都市計画マスタープランでの自然減少対策、社会減少対策等の実行分を加味した人口推計 4,872 人の町民浸透度についての見解と、この推計人口で町づくりを組み立てて行くとの理解をして良いか伺います。 (2) 現在の追分・安平・早来・遠浅地区の居住者数を男女別に伺います。 (3) 令和4年から令和7年7月末までの転入者・日本人・外国人の数を各年別に、その転入者の雇用先は、地元・他の市町村・自営業・無職別に人数を伺います。 (4) 現行の国の1人当たりの交付税額について伺います。

(5) 人口減少・地域経済の縮小による影響は計り知れないものがあります。経営資源の制約により、従来の方法や水準で公共サービスを維持することが困難になり、暮らしを支える対策を再構築していかなければならない。その対策を模索されているのか伺います。

(6) 人口減少がより進む中、地方自治体は「自立的に財政運営できる自治体」「国から補助金等に依存はするが近隣自治体や民間事業者等との広域連携でもって存続する自治体」「自立も連携が難しく業務の実施事態を当面限定せざるを得ない自治体」に区分されていくのではないかと予測されるところですが、当町はどの区分になるのか。これ以外の区分になるとの考えなのか伺います。